



令和3年6月24日

No.63号

山形市立第四小学校
校長 日高 伸 哉
〈児童数 196名〉

TEL 623-6019

～6/16(水) いちよう児童会総会 児童会目標決まる～

『 110年の伝統を受けつぎ 仲の良い四小にしよう 』

脈々と紡いできた「心と形」・・・伝統

児童会総会は、「民主主義」を学ぶよいチャンスです。「自分たちのことを、自分たちで決める」「自分たちの暮らしを、自分たちで創ってゆく」、そういう活動を通して、少しずつ大人になってゆきます。

先週水曜日の3～4校時に、児童会総会が行われました。教育課程の中で、自発的・自治的活動を軸とする特別活動、いわゆる「特活」の時間にあたります。執行部（プロジェクトチームや各委員会）の提案に、いちよう児童会の会員が質問や意見を交わします。もちろん「いちようの子」全員が会員ですが、総会へは3年生以上が出席します。それでも、1年生や2年生は、上学年がどのように話しているのか、雰囲気や張り詰めた空気感を肌で感じるために、アリーナに参観に来ます。これも伝統の一つです。

児童会目標設定の理由は、議案書に詳しく記載されています。

『今年は、四小創立110周年の節目の年です。四小の先輩たちが築いてきた伝統を受けつぎ、生活にいかすために、「110年の伝統を受けつぎ」という言葉が大切だと考えました。学校がよりよくなるには、協力することや、おたがいにあいさつができるようになること、相手を思いやることが大切だと考えました。ですから、プロジェクトチームでは、上の児童会目標にしたいと考えています。』

「伝統とは、これまで続いてきている【旗揚げ】や【銀杏拭き】【クルーズ班活動】などです。」と、プロジェクトチームの6年多田晃世さんが質問に答えてくれました。さすが、6年生最高学年です。しっかりとイメージを持って発言しています。これまで脈々と紡いできた「心と形」、伝統とは盲目的に同じことをやり続けることではなく、その価値や真髄、意図、志に想いを馳せ、理解し、共感し、新たな価値をも付加してゆく。そういう営みではないかと思うのです。そういうことを、最高学年の「いちようの子」が引き継いでくれています。とても嬉しいことです。

創立110周年の今年、いちよう児童会の「志」を、会員196名とスタッフ21名、そして保護者の皆様のお力添えをいただき、みんなで実現してゆきましょう。

